

業務企画部 流部長が「地震保険の歴史的経緯」をテーマに講演

～ 11月9日(土)に新潟市で開催「日本災害情報学会 25周年記念 公開シンポジウム」～

一般社団法人日本損害保険協会（会長：城田 宏明）は、日本災害情報学会第29回学会大会において同会が主催する25周年記念公開シンポジウムに協賛し、業務企画部長である流 友之氏が「地震保険の歴史的経緯」をテーマに講演を行います。

日本災害情報学会は、「災害情報」をキーワードに、防災・減災に役立つ災害情報や、その伝達・受容のあり方などを調査・研究し、その成果を社会に提言することを目的として1999年4月に設立され、25年目の節目を迎えました。

本シンポジウムは「新潟地震60年—新潟地震と現代的意味—」と題して開催されますが、現在の地震保険制度は、この新潟地震をきっかけとして1966年に公布・施行された「地震保険に関する法律」に基づいて創設されました。流部長が、こうした歴史的経緯をテーマに講演を行います。

【25周年記念公開シンポジウム概要】

- 名称 : 日本災害情報学会 25周年記念 公開シンポジウム
主催 : 日本災害情報学会
協賛 : 一般社団法人 日本損害保険協会
後援 : 新潟県、北陸地方整備局、防災・減災 新潟プロジェクト2024 実行委員会、新潟地方気象台
日時 : 2024年11月9日(土) 15時30分～18時00分 (15時00分開場、受付開始)
会場 : 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター (2階 メインホールB)
参加費 : 無料 (要事前申込 定員280名先着順)
申込方法 : 以下URL または右記QRコードよりお申込ください。



https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeUghKfJzWbatyysYstaOXZMOqHUkvKIA51qxEGTPGmwI92ew/viewform?usp=sf_link

プログラム：1964（昭和39）年6月16日に発生した新潟地震は、沿岸部への津波、市内での液状化、石油コンビナートでの火災などをもたらし、死者26名、全壊1,960棟などの甚大な被害をもたらした。近代化した日本の都市を襲った初めての大規模地震と言われている。また、この地震を踏まえ、地震保険制度が創設された。この地震について改めて学び、令和6年能登半島地震での液状化の発生などを含めた、新たな知見を踏まえ、現代の地震災害と防災について考えることとする。

- ・開会挨拶 花角 英世（新潟県知事）
- ・基調講演 入江 さやか（松本大学地域防災科学研究所 教授）
「新潟地震—60年前の災害報道から見えるもの—」
- ・講演 吉田 律人（公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 横浜都市発展記念館 主任調査研究員）
「新潟地震と復旧・復興」
卜部 厚志（新潟大学 災害・復興科学研究所 教授）
「新潟地震と液状化」
流 友之（一般社団法人 日本損害保険協会 業務企画部長）
「地震保険の歴史的経緯」
井川 恭一（新潟日報社 報道部）
「新潟地震60年報道 ～広域被害、次世代への視点～」
- ・閉会挨拶 岩田 孝仁（日本災害情報学会長）

なお、第29回学会大会内のプログラムは、以下をご覧ください。

http://www.jasdis.gr.jp/_src/2899/01-29_program.pdf?v=1729046162461